

9 6. <二つの下笹目>

今から5年ほど前に、このコーナーで「武蔵国佐々目郷」と、J S 技術開発部の所在地周辺の歴史が紹介されていましたが、J S 技術開発部は、埼玉県戸田市下笹目に所在し、戸田市の西のはずれにあります。J S だけが「下笹目」で、周囲は全て「笹目」です。元来、荒川の堤防と堤外地が「下笹目」なのですが、J S は堤防の付け替えで得た土地にあるため、このようなことになっています。かつては郵便物の速達配達区域外だったり、今も携帯電話の電波が届きにくいなど不便を被っています。しかし、バス停や交差点の名称に「下笹目」が付いており、一帯がかつては下笹目であったことを示しています。しかし、下笹目は町名変更の中で消えていき、荒川の中にその名を残すのみになったと私は思っていました。

ところが、J R 埼京線の北戸田駅近辺も「下笹目」であることを最近知りました。戸田市の北のはずれで、荒川からは遠く離れています。遠く離れていながらも地名が同じため、驚いたことに郵便番号まで同じです。かつて、戸田市の広い範囲が「下笹目村」であり、町村制施行により「笹目村大字下笹目」となりました。戦後の市街化と町名変更政策の中で、この2箇所が北と西に分断される形で「大字下笹目」のまま残り、現在に至ったようです。「笹目」は、古くは「佐々目」と書きましたが、「下笹目」から「下」の字を取って「笹目」としたとのこと。下笹目は、ある意味、由緒ある地名ですが、消滅寸前の地名でもあります。北戸田の下笹目は再開発中のため、やがて町名変更により消滅するのではないかと思えます。

たまたま同じ地名で、何のゆかりも縁もないのかと思ったら、意外なつながりがあります。J S に隣接して埼玉県の荒川左岸南部流域の処理場がありますが、北戸田の下笹目も、その隣接地にこの流域の中継ポンプ場があります。二つの下笹目は奇しくも流域幹線で直接つながっています。

<技術開発課長 川島 正>

※ J S 技術開発情報メール No. 105 号(2010/8/6)に掲載